

「家庭で無理なく対応できる困った行動Q&A」

— 自閉症の子どものためのABA基本プログラム4 —

鳥取大学大学院教授 井上 雅彦 著 学研プラス出版

「家庭で」、「自閉症の子どものための」と銘打たれた本書ですが、困りごとを抱える全ての子どもに対し、教師として、保護者として、支援者として、大きなヒントをもらえる一冊です。

まだ自分の思いや要求を言葉で(または行動で)上手く伝えられない子どもは、時に我々には思いもよらぬ行動でストレスを表出します。そんなとき、お互いのしんどい思いを軽減するため、本書では「ABA(応用行動分析学)」における「機能分析」というアプローチを紹介しています。

教室を飛び出して行く子、頭を床に打ち付ける子、友達の髪を引っ張ってしまう子—学校には様々な行動を繰り返す子どもがたくさんいます。困った行動に対し、その都度抑制したり、叱ったり、無視してみたり…。でも効果が出ず、疲れ果ててしまうことはありませんか? そんなときは、本書にある「ストラテジーシート」(下図)で支援計画を作成し、その行動の構造を把握・具体化していきましょう。

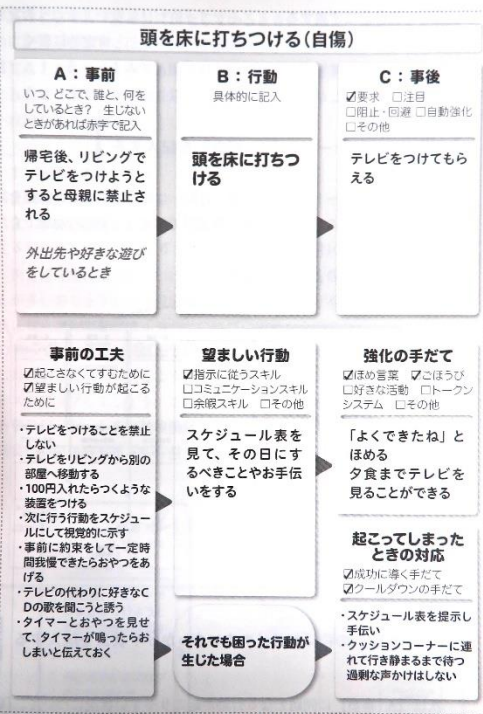
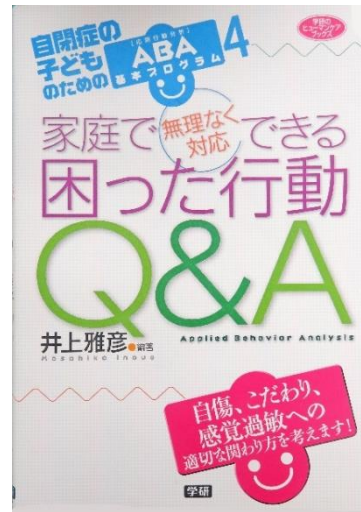
「教室を飛び出す」という行動の裏にも、様々な原因が考えられます。大人の気を引きたい…その場所に嫌な物がある…やりたい遊びが見付からず退屈だ…。そして以前それをしたときに、うれしいことがあったとしたら? そうして同じ問題行動を繰り返すようになったのだとしたら? そんな風に行動の分析をした上で、問題行動に代わる望ましい行動を強化していきたいものです。こうして分析を進めることで、こんなメリットがあります。

- ① 困った行動がいつ起こるか予測できる。
- ② 冷静に対応することができる。
- ③ 事前に対策を立てられる。



きっと、今までよりも気持ちが軽くなり、余裕をもって行動に対処していけるはずです。そして、対象児の困った行動が望ましい行動に変わっていき、教室の友達や先生が自分を見て笑顔になることが増えたなら…きっとその子自身も、素敵な笑顔が増えるのではないのでしょうか。

さらに本書の後半には、様々な具体的事例が掲載されています。そちらも大変参考になるので、是非多くの教育者、支援者の方々に手に取っていただきたい、オススメの一冊です。



編集後記



GIGA スクール構想の iPad は使える機能は限定されますが、今ある機能を使ってどんなことができるか、どのようにしたら取り組みたいことが可能になるかについて模索しながら活用の可能性を探っていきたいと考えます。先生方からも、「こんな使い方ができたら、学びがスムーズになりそうだな。」「こんな使い方をしたら、苦手なことを代替してやりたいことに向かえるかも。」など、子どもの姿や子どもの願いをもとに iPad 活用をされている実践について、ぜひお聞かせください。

サポート通信

令和4年6月7日発行



広島市立広島特別支援学校

発行者 広島市立広島特別支援学校地域支援部
広島市南区出島4丁目1-1 TEL 代表 (082) 250-7101

VOL.31

三つの宝 ~「感謝」「謙虚」「素直」~ を胸に秘めて

広島市立広島特別支援学校校長 合田 和広

サポート通信を御覧いただき、篤く御礼申し上げます。今年度校長2年目を迎え、さらに気を引き締めて学校教育活動へ取り組んでまいります。どうか今年度もよろしく願いいたします。

平成19年4月学校教育法の一部を改正する法律が施行され、地域の特別支援教育のセンター的機能を果たすことが特別支援学校に位置付けられました。平成24年4月に分掌部としてセンター的機能を推進する「地域支援部」を立ち上げ、その後、広島市域の教育相談を行うサポートセンターが設立されました。今年度は、北村知恵子教諭、間賀田京子教諭、永井康子相談員、田淵三晴相談員の4名が担当します。今年度もよろしく願いいたします。

現在サポートセンターは、多くの子どもたちや保護者の皆様、教職員の皆様に御利用いただいております。令和3年度の来校相談件数は延べ1,240件でした。支援形態としては、本人・保護者への支援として御来校いただく面談での対応が多数で、在籍校との連携も行っています。また、学校への支援として教育相談主任が学校に向く巡回相談も行っています。今後も学校との連携を大切にしながら、サポートセンターの相談を進めて参りたいと思います。

本校は、今年度から新しい学校教育目標を掲げました。「出逢いに感謝し、自他を大切にしながら、学び続ける人間力を育成する。」です。「出逢い」とは、人との出会いだけでなく、取り巻く環境や困難なこととの出逢いも含まれます。そうしたすべての出逢いに「感謝する」ことで自分自身と正対し、「自分や他者、それを取り巻く環境も大切に」謙虚な心を育み、素直な気持ちで前向きに「学びへのめりこんでいく」ことを学校目標とします。キーワードとなる、「感謝」「謙虚」「素直」を三つの宝として、児童生徒だけでなく、教職員もこの目標の実現を目指してまいります。

もう一つ、昨年度から本校として取り組んでいる大きなテーマがあります。それは、「TS(トータル・サティスファクション)」です。仕事とは、目の前の業務をこなすことだけを考えるのではなく、この仕事を通じて、どれだけの人を幸せにできるかを考えて行うことであると考えています。「今さえよければいい、ここさえよければいい、自分さえよければいい」という考え方を捨て、「今、ここで、自分にできる」様々な活動を通して、児童生徒だけでなく、その保護者の皆様、本校に関わるすべての皆様、地域の皆様をすべて幸せにできる、「トータル・サティスファクション」社会のモデルとしての学校づくりを「対話とパートナーシップ」をその手法として、教職員一同、全精力を傾けて行ってまいります。



教育相談

サポートセンターについて

本校のサポートセンターでは、広島市立の幼稚園、小・中学校、高等学校に在籍している幼児児童生徒と保護者、教職員を対象に、来校相談、巡回相談などを行っています。

保護者・本人への支援 (保護者からのお申し込み)

保護者と本人がサポートセンターへ来校する相談です。子どもの特性や学び方の特徴を把握・整理したり、担任の先生方と連携を図って情報交換を行ったりします。それを踏まえ、保護者や本人とともに、具体的な支援や学習方法について一緒に考えていきます。



学校への支援 (学校からのお申し込み)

特別な教育的ニーズのある子どもたちの特性の理解や支援の在り方等について情報提供をします。「巡回相談」と「来校相談」があり、「巡回相談」では、実際に授業場を参観し、子どもの特性に応じた対応や教材等を紹介しています。

まずはお電話していただければと思います。



先生方との連携を大切にしながら相談を進めていきたいと思ひます。まずは、お電話ください。
広島特別支援学校サポートセンター 直通Tel 256-2310 学校代表Tel 250-7101

お知らせ 夏休み中のおすすめ研修会・相談会

教育相談会

市内小学校、中学校の児童生徒の指導や支援についての相談会を行います。

相談期間
前期:8月3日(水)~10日(水)
後期:8月18日(木)19日(金)22日(月)
対象:特別支援学級教員
内容:児童生徒の実態理解やアセスメント、指導支援
方法:Google Meetによるリモート相談

詳細については、各校に配布する別途案内を御覧ください
御不明な点は、地域支援部(担当:中学部 菊一・今岡 Tel250-7101)までお気軽にお問合せください。

サポートセンター研修会

「子どもを理解し、支援につなげる WISC-IVの活用について」

日時:令和4年8月8日(月) 14:00~16:30
対象:広島市立幼・小・中・高等学校 特別支援学級担任 通級指導教室担当者 特別支援教育コーディネーター (昨年度までの研修を未受講の方)
講師:教育相談主任 地域支援部
会場:広島市立広島特別支援学校 ☆先着30名

案内は各学校にメールで送付しています。御覧ください。

夏季研修会

研究会 A (特別支援教育部会)

特別支援教育の経験3年目までの方を対象の研修会です。

日時:令和4年7月28日(木) 9:00~11:30
場所:広島市立広島特別支援学校 申込締切:令和4年6月24日(金) ☆先着50名

実際の授業ビデオを視聴して授業研究を体験したり、各グループ幹事が教材紹介や、ご相談に応じます。児童生徒の理解や具体的な対応、授業づくりについて、きっとヒントが得られると思います。

お申し込みは、Google フォーム (QRコード)、e-mail、FAXで。 問合せ先:五日市小学校(川本)



GIGA School iPad

アプリをインストールできない…?!を解消する 「マルチメディアデジ教科書」がウェブ上で利用可能に!!

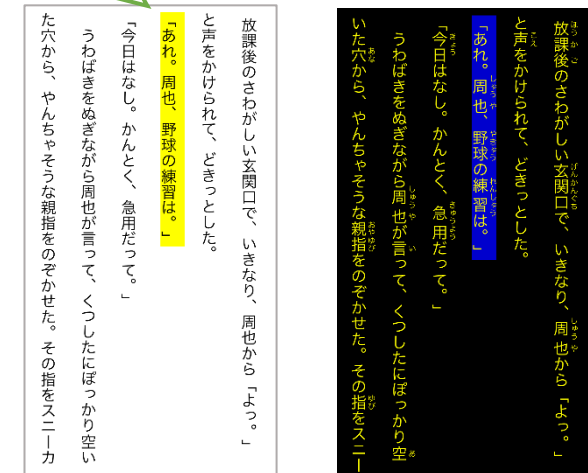
「マルチメディアデジ教科書」は、視覚障害のある人や読みの困難さがある人のためのアクセシブルな教科書です。今年度から新たに、インターネット環境があればその場でアクセスして利用することが可能になりました。事前に登録は必要ですが、アプリをダウンロードしなくても、無料でしかも GIGA スクール端末でも利用することができます。「授業や朝の読書タイムで音声図書を利用する」そんな学び方がより身近になりそうです。

マルチメディアデジ教科書

通常の教科書と同様のテキスト、画像を使用し、テキストに音声でシンクロ(同期)させて読むことができる音声教科書です。読みに関する負担が減ることで、本来自分が持っている能力を、中身のことを考えたり内容を理解したりすることに使うことができます。

どこを読んでいるかがわかりやすい!
(読み上げ箇所がハイライト表示)

読みやすさ、見やすさ、聞きやすさをカスタマイズできる!
(速さ、文字や行間、背景色の調整、漢字のルビ振りなど)



ログイン名、パスワードを子ども自身が管理できるようにしておくことも、大事な学習です。(パスワードは覚えやすいものに変更可能)



ウェブ上で利用するには

ウェブページから利用申請をする



申請が承認されると「ログイン名」と「パスワード」が届く

「マルチメディアデジ教科書」でログイン

MPF(マルチプラットフォーム)利用設定を「利用する」に設定



「マルチメディアデジ教科書」ウェブリーダーでログイン



URL:https://mpf.jsrpd.jp/

教科書の本棚が開く 利用したい教科書を選んで再生する

デジ子どもゆめ文庫



子どもが興味のある図書が多く取り揃えられているウェブ文庫で、自分が読みたい本を探して利用できます。「マルチメディアデジ教科書」の利用登録者であれば、「デジ子どもゆめ文庫」に別途申請すれば利用可能です。(「ゆめ文庫」のログイン名とパスワードが必要です。)

まずはこの「ゆめ文庫」から、読書の扉を開いてはいかがでしょうか。



デジ子どもゆめ文庫 蔵書の一例